



2025.06.15 No.090

発行：JR東労組東京地本 業務部

東地申第10号

「2024年度営業関係施策(その2)について」及び

「2024年度営業関係施策(その3)について」

団体交渉を行いました⑥

【神田駅】

18. ホーム体制見直しができるかと判断した根拠はなにか示すこと。

【回答】車掌用 ITV の整備により車掌の視認性が確保され、乗降終了表示の省略が可能となることから、お客さまのご利用状況等も踏まえたうえで体制の見直しを行うものである。

19. ホーム体制見直し後の駅全体の体制について具体的に示すこと。

【回答】「2024年度営業関係施策(その3)について」で示したとおりである。

(組)朝夕の通対時、ホーム社員がいなくなることで安全レベルが下がるのではないか

(会)通対時はテンポや警備員がホームに。当務や内勤が「ホーム巡回」をする。安全性は変わらない。自信もって言える。確認

(組)ホーム体制見直すのに「ホーム巡回」と言う。矛盾を感じる。

(会)神田の特殊性として、酔客が多いという認識。そのため、ホーム巡回を当務や内勤。テンポや警備が通対警備。

(組)当務・内勤が巡回時は赤色旗や合図灯は持参するのか

(会)持参しない。誤表示の恐れがある。なにかあれば列停を扱う。

20. 中央快速下りホーム上の車掌用 ITV の5画面表示についての評価を示すこと。

【回答】乗務員の視認性は確保できていると認識している。なお、引き続き安全・安定輸送を確保していく考えである。

21. 異常時発生時のフローについて具体的に示すこと。

【回答】異常時においては、箇所総体で対応することとなる。

(会)10月から12両化のタイミングで乗務員の視認性が向上し、安全にドアを閉められる。

八王子の乗務員区ともヒヤリング済。実運用してきた。なお諸調整も可能。確認

(会)異常時は当務駅長と内勤で対応。駆けつけフローなどは準備中。確認

ホーム体制見直すのにホーム巡回は必要…

巡回時、赤色旗（合図灯）は誤表示の恐れがあるから

持参させない…

それで「安全性が変わらない」と矛盾だらけ！

チェック機能の役目を果たしていきます！